

令和7年度第1回青森市障がい者差別解消調整委員会 会議概要

開催日時： 令和8年3月3日（火） 18：30～19：05

開催場所： 青森市総合福祉センター 2階 大集会室

出席委員： 天野 高志委員、大川 郁子委員、葛西 智賀子委員、
工藤 史子委員、佐々木 光子委員、柴田 美穂子委員、
田中 尚樹委員、村田 麻奈美委員 《計8名》

欠席委員： 蝦名 真記子委員、桐原 郁子委員、張間 絢子委員 《3名》

事務局： 福祉部障がい者支援課長 向中野 葉子、同課主幹 小笠原 将憲、
同課主幹 工藤 剛、同課主幹 和田 康裕、同課主幹 渡邊 和則、
同課主査 齋藤 牧子 《計6名》

会議次第

1 開 会

障がい者支援課長あいさつ、事務局職員紹介

2 組織会

(1) 委員紹介

(2) 委員長及び副委員長の選出

3 事務局説明

(1) 青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例の概要について

(2) 青森市障がい者差別解消調整委員会の役割について

4 案 件

(1) 障がいを理由とする差別に関する相談事案について

(2) 障がいを理由とする差別解消のための周知・啓発等の取組について

5 その他

6 閉 会

【会 議 概 要】

組織会

事務局から委員長及び副委員長の選出については、「青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」第15条第1項の規定に基づき、互選により定める旨の説明があり、委員長として田中委員、副委員長として天野委員が全会一致で選出された。

事務局説明

(1) 青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例の概要について

事務局から、資料1のとおり、「青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」の概要について説明があった。

(2) 青森市障がい者差別解消調整委員会の役割について

事務局から、資料2-1、資料2-2のとおり、青森市障がい者差別解消調整委員会の役割について説明があった。

案件

(1) 障がいを理由とする差別に関する相談事案について

事務局から、資料3のとおり、これまでの障がいを理由とする差別に関する相談事案について説明があった。

(2) 障がいを理由とする差別解消のための周知・啓発の取組について

事務局から、資料4のとおり、障がいを理由とする差別解消のためのこれまでの周知・啓発の取組について説明があった。

意見、質疑応答

○委 員 市民・事業者に対する啓発事業の実績がまだ少ないと思う。今後の進め方について、計画などはあるのか。

○事務局 令和8年第1回青森市議会定例会の一般質問で市議会議員から鳥取県で実施している「あいサポート運動」について紹介があった。今後導入済みの他自治体の運用状況を踏まえ、啓発事業の強化に向け、導入を含め検討していきたい。

○委 員 啓発事業について、「いろいろなキモチのつたえかた教室」は、とても好評。子どもたちはとても素直に興味津々で話をきいている。その後、総合的な学習の時間で自主的に調べるなど、学びが広がり、理解を深めることができた。啓発事業をきっかけに理解が広がっていくと感じているので、これからも続けて行ってほしい。

多様性を受け入れる学校・社会になって行ってほしいと思っている。

○委員 選挙の際に、投票所にコミュニケーション支援ボードを設置していると思うが、分かりやすいところに設置しているのか。

○事務局 2月にあった衆議院議員選挙では、期日前投票所の入口付近に、コミュニケーションボードを複数枚置いており、分かりやすい設置をしていた印象がある。
(投開票日当日)投票所での設置状況までは分からないが、期日前投票所ではそのような対応をしていた。

○委員 期日前投票所でも投票所でも定位置に設置するなどコミュニケーション支援ボードを分かりやすい場所においてほしい。